

# 加工精度・高生産性を両立

## 日本オートマチック 精密バイス2種投入

日本オートマチック工機用パレットで、高付加価値の加工需要に対応する。11月1日に発売し、合わせて年150万台以上の販売を目標とする。

1) は、加工精度と高い生産性を両立する工機用精密バイス(万力) 2種を市場投入する。5面加工機用小型4面バイス(写真)とワイヤカット放電加工

工機用パレットで、高付加価値の加工需要に対応する。11月1日に発売し、合わせて年150万台以上の販売を目標とする。

工時の寸法誤差も100分の5以内になる。

抑制えられる。

バイスの寸法は幅120mm×高さ167mmと小型化したため、直径200mmの円テーパーに搭載できる。価格は75万円(消費税抜き)で、自動車部品や電子部品など、加工精度とともに生産性が求められる機械加工向けに、年100

台以上の販売を計画する。

ワイヤカットパレットは平行度2分以内(マイクロは100万分の1)・直角度5分以内の精度を出せる。14kgまでの重量物に対応した。寸法は330mm×255mm×33・5mm。マルチシステムを採用したため、耐摩耗性と耐久性が向上した。価格は65万円(同)。年50台の販売を計画する。

